

令和5年度京都府立盲学校第2回学校運営協議会報告

日 時 令和5年11月27日（月）13:30～15:30

場 所 京都府立盲学校大徳寺校地 視聴覚室

出席者 委員 6名、事務局 5名

（1）開会挨拶（会長）

（2）日程説明

（3）授業参観

幼小中学部の授業を参観しました。

（4）報告及び熟議

①自立と社会参加を目指した教育活動について、各学部総括主事が説明し、その後、担当教諭より取組の内容を報告しました。

②令和5年度の取組状況から今後期待される事項について、熟議されました。

（5）意見等の概要

- ・小学部「遊びの時間」では集団を確保し、手を使って積み木を積み上げたり数を数えたりして、将来の生活に繋がる学習をたくさん行っていることがわかった。
- ・タブレット端末や拡大読書器、点字タイプライターなどの視覚支援機器をフル活用している様子が伺え、時代の変容を感じた。
- ・視覚支援センターの支援もあり、地域からの入学者が多く、明るい兆しがみられた。
- ・言語活動の充実の取組として、生徒の興味関心の全くないところから工夫を重ね、生徒が自信を持って表現するに至った落語の取組は良かった。
- ・どの学部も地域校や他府県の盲学校との交流等を行い、外部との繋がりを持ち、キャリア教育を見据えた取組を行っていることがわかった。

（6）その他

- ・学校評価アンケートについて、副校長より昨年度との違いを説明しました。
- ・次回の協議会日程は2月20日以降を予定

